

学校だより

地域とともにある学校

～三つの満足で「学校」大好き～

令和7年9月19日 No.11

《文責：校長（島田）》



いずみん

地域とともにある学校とは

9月の13日から15日の3連休はいかがお過ごしでしたか。泉町では、柿迫・栗木、下岳、五家荘と敬老会があったり、泉第八小学校では運動会があったりしました。私は、本年度は泉第八小学校の運動会に参加させていただきました。初めての参加でしたが、前校長の内場校長先生からお話は聞いていましたが、まさに「地域とともにある学校」の運動会そのものでした。本当に地域で子どもたちを宝として育ててくださっているのだなと感激いたしました。今年は2名の児童ですが、多くの競技に地域の方や一般の方、そして、これまでかわりをもっておられた方々も参加されていました。私も丸太切りやボールリレー、ダンスと参加しました。また、嬉しいことに、泉小中学校の児童生徒やこれまでに泉小中学校にいた子どもたちも参加をしてくれていました。そのような多くの方に見守られて泉第八小の二人の児童が楽しそうに参加をしていたのが印象的でした。区長さんとの話の中で「子どもたちが笑顔になってくれるのが一番嬉しい」「この縦木だからこその運動会」と温かい言葉と誇りを感じたところです。卒業生も参加しており、懐かしい気持ちにもなりました。そんな泉第八小学校の運動会に負けずに、下岳保育園・泉小中学校の運動会も地域や保護者の方に喜んでいただく運動会にしていかなければと決意したところです。もちろん、この泉小中学校の児童生徒もこの泉町の皆様に見守っていただいています。そして、すくすく育っています。

16日の朝にある観光客の方から連絡がありました。内容は、泉町で出会った二人の男の子の挨拶がとても素晴らしくて、嬉しくて連絡しましたというものでした。これには、とても私自身も嬉しかったです。さっそく、全校児童生徒の前でお話しました。挨拶の素晴らしさですが、やはり、挨拶をどんな時にでもどんな方にでも自分からできるということの素晴らしさです。学校だけでできても…家庭だけでできても…ではなく、どんな場面でもできることは中々できません。そんな難しいことを率先してくれた二人の兄弟にお礼を言いたいと思います。その後、他の子どもたちも私たちに挨拶する声と目が輝いていたような気がします。伝わってくれたのだと思います。とても嬉しい朝でした。

さて、敬老会でも5名の子どもたちが作文発表をしてくれました。とても地域の方々から好評だったそうで、とてもよかったというお声をいただきました。

地域で挨拶ができ、地域の行事に参加でき、運動会等で地域の方に喜んでもらう。これこそ地域とともにある学校だと改めて感じました。それを泉第八小学校の子どもたちや地域の皆さん、二人の兄弟、敬老会で頑張ってくれた子どもたちから教えてもらいました。



水難事故防止について

先日、八代市内で大切な命がなくなる痛ましい事故がありました。私たちは何よりも安全で安心な学校生活を送ることを第一にしています。今回は休み中に起きた事故ですが、今回のことをしっかり胸に刻み、決してこのような悲しい事故を起こさないようにしていくことが必要です。学校からもしっかり話をしていきますが、決して子どもたちだけでは川や海遊びをしないようにご家庭でもお話しください。また、もし、遊ぶときは保護者同伴でライフジャケットの着用等もご検討ください。川の流れは急に変わります。大切ないのちを守るためにもどうぞご家庭や地域での見守りもお願いします。